

## サステナブル建築事例集ホームページのリニューアル公開について ～事例の充実と検索機能の強化～

(社)日本建設業連合会(以下、日建連)は、旧(社)建築業協会(以下、BCS)時代の2009年度より、会員各社の設計施工によるサステナブル建築の事例集をとりまとめ、ホームページ内のサステナブル建築に関するコーナーで公開してきた。このサステナブル建築事例集は3年目を迎えるにあたり、事例を200件近くまで充実させ、ホームページのリニューアルにより事例検索を容易にした。このコーナーではサステナブル建築事例集のほか、サステナブル建築特別委員会報告書、サステナブル建築を実現するための設計指針、CASBEE対応状況および省エネルギー計画書に関する調査報告書を公開している。一般公開は3月30日(金)。

### 1. 経緯

旧 BCS は、1990 年より「建築業と地球環境」を重要な課題として位置づけ、各種の活動を行ってきた。2008 年には「BCS 行動計画」を策定し、五つの重点施策の第二に「サステナブル建築による地球環境への貢献」を掲げ、設計段階における配慮項目として「省エネルギー設計等の環境配慮設計の推進」、「CASBEE 利用促進」を具体的な施策として示した。

この施策の一環として、旧 BCS は会員各社の設計施工案件(新築、改修、保存等)のうち特にサステナブル建築に取り組んだものを 2009 年度より事例集としてまとめ、インターネットで公開してきた。今回、日建連の設計委員会環境設計専門部会が 2011 年度に 48 件を追加し 198 件となった。事例の充実に伴い、検索機能も強化し使い勝手を向上させた。

### 2. サステナブル建築事例集について

○事例件数は 198 件、会員 17 社から提供を受けた。

○設計施工の事例をまとめている。最新の事例を多く紹介している(施工中のものも含め)。

○事例シートには、

名称、建築概要、カテゴリー\*、案件の説明、図面、写真、サステナブル建築としての特徴の説明  
主要な採用技術\*\*、CASBEE 評価結果、設計担当者名など

が記載されており、案件ごとに A 3 版 1 枚の事例シートにまとめた。

○検索機能を強化し、建物種別やサステナブル建築への取り組み方(事例集では“カテゴリー”としている)、所在地、竣工年などから検索を可能にした。

○本事例集は下記のような取り組みを有する事例を多く有している。事業企画、設計、施工、研究開発、建物の運用・管理などに広く、深く関わっている当会会員各社の特色が打ち出されたものとなっている。

- ・省エネルギーや快適性の確保に高度な技術を導入した事例
- ・サステナブル建築としての性能と、建築デザイン、インテリア、景観との高度な融合
- ・高い環境性能を有する(CASBEE 評価での高評価)事例
- ・シミュレーション等を活用し、効果や性能に関する検証など
- ・再生可能エネルギーへの積極的な取り組み
- ・環境負荷低減に資する建築生産・工法の創出や工夫
- ・高い耐震グレードや免震、制震など、建物の信頼性、耐用性、長寿命に資する取り組み

- ・リニューアルやコンバージョン、耐震改修、街並みの再生などの事例
  - ・スケルトンインフィルなど可変性・更新性に配慮した取組み、メンテナンス性への配慮
  - ・周辺環境への負荷低減、固有の歴史性・地域性への配慮、緑地保存など
  - ・運用段階のエネルギー消費や生物多様性に関わるモニタリング等、ライフサイクルにわたる取組み
- 各ポイントは図や写真を交えてわかりやすく説明されており、大いに参考として頂けるものとする。

\* カテゴリーとは、サステナブル建築への取組み方に関する分類である。

「環境配慮デザイン」「省エネ・省CO2技術」「各種制度活用」「評価技術・フィードバック」「リニューアル」「長寿命化」「建物基本性能確保」「生産・施工との連携」「周辺・地域への配慮」「生物多様性」「その他」の11項目。

\*\* 主要な採用技術とは、CASBEEの中項目にあわせた分類である。

「Q2.2 耐用性・信頼性」「Q2.3 対応性・更新性」「Q3.1 生物環境の保全と創出」「Q3.2 まちなみ・景観への配慮」「Q3.3 地域性・アメニティへの配慮」「LR1.1 建物の熱負荷抑制」「LR1.2 自然エネルギー利用」「LR1.3 設備システムの高効率化」「LR1.4 効率的運用」「LR2.1 水資源保護」「LR2.2 非再生資源の使用量削減」「LR2.3 汚染物質含有材料の使用回避」「LR3.1 地球温暖化への配慮」「LR3.2 地域環境への配慮」「LR3.3 周辺環境への配慮」「Z その他」の16項目。

以上